

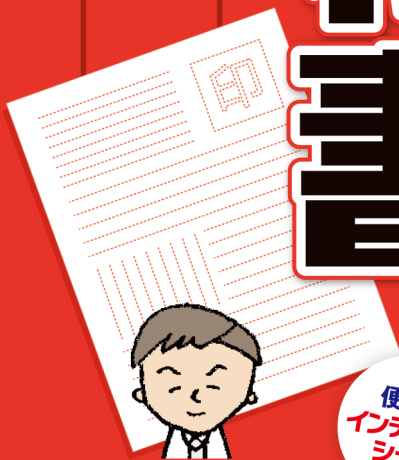
09759P-00



TAC行政書士講座
滝澤ななみ編集協力

行政書士 の 教科書

みんなが
欲しかった!



便利な
インデックス
シール

見やすい
フルカラー!

別冊六法
で条文も
チェック!

初学者も独学者もどんどん理解できる!
使いやすくて分かりやすい教科書

全体像がつかめる
スタートアップ講座! **+** 持ち運びラクラク
5分冊に分解できる!

本書は、令和3年11月15日現在の施行法令および令和3年11月15日現在において令和4年4月1日までに施行される法令に基づいて作成しております。

なお、本書刊行後、令和4年4月1日施行の改正法令が成立した場合は、下記ホームページの法改正情報コーナーに、「法改正情報」を掲載いたします。

TAC出版書籍販売サイト「Cyber Book Store」

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

はじめに

本書は、行政書士試験の試験科目についてまったく知識がない人でも、最初に手に取る1冊として役立つよう、普段の自分の生活と並行させて学習し、行政書士試験に合格するための基礎知識をきちんと身に付けられるよう、わかりやすさを重視して編集したものです。

ここでいうわかりやすさとは、体系的に理解しながら学習できるということです。

行政書士試験で出題される科目は、学習範囲が広く、かつ、細かいため、最初から細部ばかり見てみると、全体像がつかめなくなり、体系的な理解がおろそかになりがちです。そこで本書では、各科目の内容の全体像をつかみやすいように、全科目の概要がわかるスタートアップ講座と、各科目の冒頭には科目ガイダンスを設けました。また、本文は各科目の基本事項を中心に収録し、その科目の理解には影響しない細部は大胆にカットすることで、メリハリをつけた学習ができるように構成しました。さらに、フルカラーレイアウトにより、視覚的にも各項目のイメージをつかみやすくなるよう心がけました。

行政書士試験対策の基本的な学習プランとしては、最初のステップとして、

- ① 本書を使って、細部にはこだわらず基本事項だけを読む学習
- ② 問題集を使って、良問をたくさん解きながら知識の定着を図る解く学習
- ③ 再び本書に戻り、合格に必要な事項を覚える学習

の順に進めていきましょう。ここではあまり手を広げず、合格ラインの少し上を狙った学習に絞ることがポイントです。

そして、それができたら次のステップとして、苦手分野の克服や加点要素となる項目を増やすことを心がけましょう。

本書は、2022年度試験において、合格ラインの少し上を狙った学習をするため、最初のステップとして正しい道標となるよう、さらに、次のステップとして少し手を広げた学習をできるようなものとなりました。

最後に、本書を十分に活用し、日々の努力を続けることによって、皆さまが行政書士試験合格の栄冠を手にされることを心よりお祈りいたします。

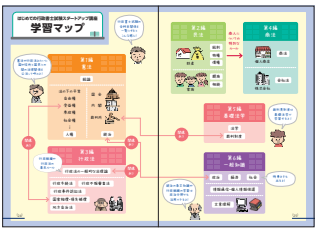
2021年11月

TAC行政書士講座

本書の特長と効果的な学習法

1 スタートアップ講座 行政書士試験で学ぶ内容をざっくり知ろう！

本書の最初に、行政書士試験の初学者向けに「スタートアップ講座」を用意しました。ここでは、これから学ぶざっくりとした学習内容と重要項目30を知る事ができます。試験全体の概要をつかむことは、効果的な学習の第一歩です。



2 学習ガイダンス これから学ぶ科目の概要を知ろう！

各編の冒頭には、学習ガイダンスがあります。初学者の人でも安心して学習スタートを切ることができます。

各編の概要を知ろう

- 全体像
科目の全体像を示す重要な骨格を图示していますので、まずはイメージをつかみましょう。
- 各CHAPTER、SECTIONの概要
CHAPTER、SECTIONごとの象徴的なイメージをイラストや図表で示しました。

SECTION	憲法	行政法	民法
1 憲法	10	10	10
2 行政法	10	10	10
3 民法	10	10	10

各編の試験傾向を知ろう

SECTION	憲法	行政法	民法
1 憲法	10	10	10
2 行政法	10	10	10
3 民法	10	10	10

- 傾向と対策
五肢択一式、多肢選択式、記述式という異なる出題形式ごとに、それぞれの出題傾向等を示しながら、留意するポイントを的確に示しています。
- SECTIONごとの出題履歴
過去10年間の本試験における出題履歴を、出題形式ごとに示しています。単元別の学習配分を決める際や、出題傾向の把握に役立ててください。
択＝五肢択一式
多＝多肢選択式
記＝記述式
※択2＝五肢択一式で2問出題

3 いざ本論学習！ 合格レベルの知識を身につけよう！

いよいよ学習スタート。まずは、「本文」をじっくり、力を入れて読み込みましょう。「側注」についても可能な限り、あわせて読んでください。ただし、負担感があるようなら「本文」のみをまず読むようにしましょう。

本文

1 法律上の争訟

1 法律上の争訟

法律上の争訟とは、①当事者間の具体的な権利義務関係に関する争いであって、②法令を適用することによって解決ができるものをいいます。「貸したお金を返す」「この土地は私のものだ」などで争いごとになっているように法律上の争訟にあたるものは裁判所が裁判権を有します¹⁴。

11 司法審査の可否

裁判所は争いごとに対して法律判断を下すのが仕事です。法律上の争訟にあたる場合は審査できますが、信仰の対象の価値または宗教上の教義に関する争いごとには審査できません(仮定事件：裁判例56.4.7)。

司法審査の可否について、法律上の争訟に該当するかどうかを合わせて見てみましょう。

司法審査の可否	
法律上の争訟	該当しない
該当する	審査しない
司法権の限界	あたる
あたらぬ	審査する

側注

1 司法権の限界

法律上の争訟にあたるだけでなく、裁判所の審判の対象とならない場合もあります¹⁵。例えば、法律上の争訟にあたるとしても高度に政治性のある国家行為であることを理由に審査の対象とされないことがあります。

(司法権の限界(判例))

自 律 権	統 治 行 為	部分社会の法理	裁 量
国会で憲法な手続によって公布された法律について、裁判所は、両院の自主性を尊重し、制定の議事手続に関する事実を審理し、その有効無効を判断すべきではない(憲法訴訟法第1条第1項、裁判例37.3.7)	衆議院の解散のような直接国家統治の基本に關する高度に政治性のある国家行為については、裁判所による法的な判断が可能であっても司法審査の対象から除外される(憲法事件：裁判例35.6.8)	大学などの部分社会では、一般市民法秩序と直接の関係を有しない内部の問題は、司法審査の対象から除外される ¹⁶	行政や立法の裁量に任されている行為については、裁量権の逸脱または濫用の場合を除いて、司法審査の対象とならない(朝日訴訟：裁判例42.5.24、熊本訴訟：裁判例57.7.7)

本書は、項目ごとに重要度を3段階で示しています。

- ★★★ 重要度 高
- ★★ 重要度 中
- ★ 重要度 低

メリハリをつけた
学習ができます！



本文は、行政書士試験合格に必要な情報だけを掲載。短期間で最大の効果が出せるよう、さまざまな要素を盛り込みました。目にやさしいフルカラーで見た目のメリハリもばっちり。最後まで飽きずに読み進めることができるのもポイントです。

(6)

本文とリンクさせた側注は、執筆講師からのアドバイス、語句説明や、細かい内容でも本試験で出題が予想される事項などをまとめたものです。

[illegible]

■ 司法権の限界

法律上の争訟にあたっていても、裁判所の審査の対象とならない場合もあります¹⁴。例えば、法律上の争訟にあたるとしても高度に政治性のある国家行為であることを理由に審査の対象とされないことがあります。

《司法權の限界(判例)》

<p>法律</p>	<p>国政や地方自治によって公権力を行使するについて、裁判所は、国政の行為を尊重し、知事、市長等の職務の執行を尊重する。その有効性を判断するまでもない（憲法第94条第2項、裁判例第377）</p>									
<p>統治行為</p>	<p>裁判所の解のしようが憲法裁判所の権限に關する最高裁判所の決定と異なる場合には、裁判所の決定が権利が侵害されておらず憲法裁判所の決定がそれよりも重大な侵害の對象外であると認められれば（憲法第94条第2項、裁判例第377）</p>									
<p>部分社会的義務</p>	<p>市民と市民の間の争い、一般市民と政府と直轄の關係を有しない民間の關係は、司法審判の對象から除外される¹⁴⁾</p> <table data-bbox="742 609 843 639"> <tr> <td>市民と市民の間の争い （裁判例第377）</td><td>争いあり</td><td>争いあり</td></tr> <tr> <td>市民と市民の間の争い （裁判例第377）</td><td>—</td><td>争いあり （裁判例第377）</td></tr> <tr> <td>市民と市民と市民の争い （裁判例第377）</td><td>争いあり 市民の決定</td><td>争いあり 市民の決定</td></tr> </table>	市民と市民の間の争い （裁判例第377）	争いあり	争いあり	市民と市民の間の争い （裁判例第377）	—	争いあり （裁判例第377）	市民と市民と市民の争い （裁判例第377）	争いあり 市民の決定	争いあり 市民の決定
市民と市民の間の争い （裁判例第377）	争いあり	争いあり								
市民と市民の間の争い （裁判例第377）	—	争いあり （裁判例第377）								
市民と市民と市民の争い （裁判例第377）	争いあり 市民の決定	争いあり 市民の決定								
<p>裁量</p>	<p>行政や立法の裁量に委ねられている行為については、裁量権の濫用または裁量権の行使が違法であるとの争ひは、裁判所の對象となる（憲法第94条第2項、裁判例第377）</p>									

ひっかけ 注意! ④
司法権の限界は、法律上の争訟にあたらなから審査しないものではありません。「法律上の争訟にあたらなことを理由に審査の対象外」として取りとするパターンには異。

◆ 政治的発展に必要

政党の発展に対する処分は原則として政党の自律的な意思に委ねるべきであり、一般市民政治秩序と直接の関係をもたない内部の問題にとどまる限り、裁判所の審査は及びません。

普通地方公共団体の議会の強硬に対する意思には①戒告、②懲罰、③出席停止、④除名の種類があります（地方自治法135条1項）。令和2年の判例は、従来、出席停止の処分は罰則対象とならなかったとしていた昭和35年の判例を変更したものと見えます。

大学において、単位の問題は大学内部の事にすぎないといえますが、卒業の問題は一般社会に関係しない事柄とはいえません。

99

神田Tの
アドバイス①

各項目の冒頭で、ここはどのような項目で、何を学習するところなのかについての指針と本試験での出題状況などを示しています。

各項目を理解する上での補足、出題傾向に応じた注意点などを記載しています。メリハリをつけた学習に活用できます。

語句

語句の定義や意味を記載しています。本文を理解するうえで重要なので目を通しておきましょう。

ひっかけ 注意!

本試験で問われやすいひっかけポイントを記載しています。内容を覚える際に非常に有効です。

 Advance
2回転目に読め

最初に読むときは読み飛ばしてしまい、一通りの学習が終わってから2回目に読み直すときには一緒に読んでもらいたいものを示しています。

条文チェック

本文を読むにあたって一緒に目を通しておくとよい条文を掲載しています。条文を調べる手間を省略できます。

本文中で、理解と暗記のために特に重要となる箇所に、アンダーラインとハイライト（メインカラーの網を掛けた太字）を付しています。

●赤色アンダーライン

暗記が必須といえる重要箇所を強調しています。

●メインカラー※アンダーライン

板書や判例の導入部分、本文の導入にあたる条文や語句の定義などを、各編ごとのメインカラーのアンダーラインで示しています。

- メインカラーハイライト

判例タイトル、固有名詞にあたる語句などに各編ごとのメインカラーのハイライトで示しています。

※各編（分野）のメインカラー

 第1編 [憲法]	 第4編 [商法]
 第2編 [民法]	 第5編 [基礎法学]
 第3編 [行政法]	 第6編 [一般知識]

知識確認のための例題（過去問題）を用意しました。教科書で学んだ知識は、問題での確認が一番定着します。「○×チェック」で、項目ごとに確実にマスターしていきましょう。各項目の最後に掲載されています（重要度★は除く。）

例題で基本的な内容がマスターできたら、「行政書士の問題集（別売り）」にチャレンジしてみましよう。「行政書士の問題集」は、本試験と同じ形式で問題が構成されています。問題集では、教科書で学んだ知識の応用力を問う問題もあり、最初は難しいと感じるかもしれませんが、あきらめずに前に進めていけば、必ずできるようになります。

[illegible][illegible]

「問題集」の解説には「教科書」の該当箇所が記載してあるので、復習のときに便利です。

とっても便利！ 5冊にバラして使える!!

セパレートBOOK形式

『みんなが欲しかった！行政書士の教科書』は、かなりページ数が多いため、「1冊のままだと、持ち運びづらい」という方もいらっしゃると思います。そこで、本書は5分冊とし、分解して使うことができるつくりになりました。

第1分冊：第1編 憲法

第2分冊：第2編 民法

第3分冊：第3編 行政法

第4分冊：第4編 商法、第5編 基礎法学、第6編 一般知識

第5分冊：みんなが欲しかった！行政書士試験六法



コンパクトに持ち歩きたい人：本を分解して使用できる！



全科目をまとめて持ち歩きたい人：ばらさず一冊で使える！

読者のみなさんは自分が使いやすいように、本を自由にカスタマイズして、自分だけの「本当に欲しかった教科書」を作り上げてください！

みんなが欲しかった！行政書士試験六法

条文そのものを確認する必要があるものを厳選して収録しています。

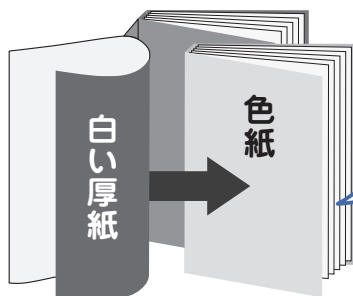
覚える必要があり、また記述式に記載する可能性がある文言は、**赤太字**になっており、付属の赤シートで隠しながら条文の文言を確認することができます。

さらに便利！ シールの活用方法

分冊して使うなら「背表紙シール」で 科目もわかりやすくきれいに!!

本書は、5分冊セパレートBOOK形式!! 分冊したら「背表紙シール」できれいに5分冊に仕上げられます。

▼まずは、白い厚紙から、色紙のついた冊子を取り外します。



色紙をしっかり持って
ぐいっと引っ掛けます!

第1分冊：第1編 憲法
第2分冊：第2編 民法
第3分冊：第3編 行政法
第4分冊：第4編 商法・第5編 基礎法学・第6編 一般知識
第5分冊：みんなが欲しかった! 行政書士試験六法

※色紙と白い厚紙が、のりで
接着されています。乱暴に
扱いますと、破損する危険
性がありますので、丁寧に
抜きとってください。
また、抜きとる際の損傷に
ついてのお取替えはご遠慮
願います。

▶ 取り外した冊子の背表紙に「背表紙シール」を貼ります。

【背表紙シールの貼り方】

- ① 付録の背表紙シールを切れ目にそって切り離してください。
- ② 点線(…)を背表紙の両端に合わせてください。
- ③ 取り外した冊子の、のりのあとが隠れるように高さを合わせて貼ってください。

分冊してもわかりやすく
見た目もきれいになります。
使い方はコチラ!



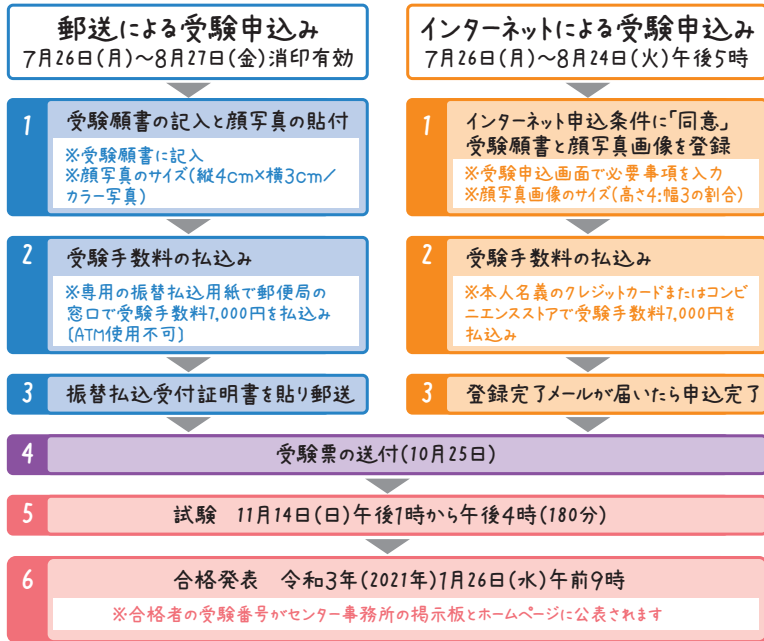
行政書士試験の概要

本試験の実施日程〈令和3年度(2021年)例〉

行政書士試験は、年1回、11月の第2日曜日に、全国47都道府県で実施されます。
令和3年度(2021年)の本試験は下記のようなスケジュールでした。

〈受験申込みから合格発表までの流れ〉

次のどちらかの方法により、受験申込みをします。



受験願書・試験案内は、「窓口で受け取る」方法と、「センターに郵便で請求して郵送してもらう」方法の2通りがあります。
利用できるクレジットカードやコンビニエンスストアは、指定されています。

受験資格

年齢、学歴、国籍等に関係なく、**どなたでも**受験できます。

科目と形式の概要

試験科目	内容等	出題形式
行政書士の業務に関し必要な 法令 等（出題数46題）	①憲法、②行政法（行政法の一般的な法理論、行政手続法、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法及び地方自治法を中心とする。）、③民法、④商法及び⑤基礎法学	5肢択一式（40問） 多肢選択式（3問） 記述式（3問）
行政書士の業務に関連する 一般知識 等（出題数14題）	①政治・経済・社会、②情報通信・個人情報保護、③文章理解	5肢択一式（14問）

※ 法令については、令和4年4月1日現在施行されている法令に関して出題される予定です。

試験科目は、大きく「**法令(等)**」と「**一般知識(等)**」の2つに分かれます。法令はさらに5つに分けることができ、一般知識は3つに分けることができます。

形式は、「**5肢択一式**」「**多肢選択式**」「**(40字)記述式**」の3種類です。

5肢択一式（単純型）：1問につき4点

「**5肢択一式**」は、5つの選択肢の中から正しいもの（または誤っているもの）を1つ選んで解答します。

問題3 人権の享有主体性をめぐる最高裁判所の判例に関する次の記述のうち、**誤**でないものはどれか。

選択肢
は5つ

- わが国の政治的意思決定またはその実施に影響を及ぼすなど、外国人の地位に照らして認めるのが相当でないと解されるものを除き、外国人にも政治活動の自由の保障が及ぶ。
- 会社は、自然人と同様、国や政党の特定の政策を支持、推進し、または反対するなどの**政治的行為をなす自由を有する。**
- 公務員は政治的行為を制約されているが、処罰対象となり得る政治的行為は、公務員としての職務遂行の政治的中立性を害するおそれが、実質的に認められるものに限られる。
- 憲法上の**象徴としての天皇**には民事裁判権は及ばないが、私人としての天皇については当然に民事裁判権が及ぶ。
- 憲法が保障する教育を受ける権利の背後には、子どもは、その学習要求を充足するための教育を施すことを、大人一般に対して要求する権利を有する、との観念がある。

問題を読んで、間違えている箇所や、アヤシ箇所印をつけておくといでしょう。また、冒頭の「正しいものはどれか」「誤っているものはどれか」についても、絶対に見落とさないようにしましょう。

（平成29年度 本試験問題より）

5肢択一式（組合せ型）：1問につき4点

「5肢択一式」の派生型で、まずア～オなどの5つの選択肢の中から正しいもの（または誤っているもの）を複数個探し、それを正しく組み合わせているものを1つ選んで解答します。

問題29 物権の成立に関する次のア～オの記述のうち、民法の規定および判例に照らし、妥当でないものの組合せはどれか。

- ☒ 他人の土地の地下または空間の一部について、工作物を所有するため、上下の地面を定めて地上権を設定することは認められない。
☒ 一筆の土地の一部について、所有権を時効によって取得することは認められる。
☒ 構成部分の変動する集合動産について、一括して譲渡担保の目的とすることは認められない。
 エ 土地に生育する樹木について、明認方法を施した上で、土地とは独立した目的物として売却することは認められる。
 オ 地役権は、継続的に行使され、かつ、外形上認識することができるものに限り、時効によって取得することができる。

- 1 ☒ ア・イ
 2 ☒ ア・エ
 3 ☒ イ・エ
 4 ☒ エ・オ
 5 ☒ ア・オ

(平成29年度 本試験問題より)

組合せ型は、5つすべての選択肢の知識を確実に知っていなくても、確実な知識をもとにした正誤判断と組合せの候補により、正解を出すこともできるので、単純型よりも解きやすいと思われる。

多肢選択式：1問につき8点＝1つの空欄につき2点

「多肢選択式」は、4つの空欄に入る適切な語句を、与えられた20の選択肢の中から選んで解答します。

問題42 次の文章の空欄〔ア〕～〔エ〕に当てはまる語句を、枠内の選択肢（1～20）から選びなさい。

行政機関は、多くの場合、自らその活動のための基準を設定する。この種の設定行為および設定された基準は、通例、〔ア〕と呼ばれる。この〔ア〕には、行政法上上で〔イ〕と〔ウ〕と呼ばれる2種類の規範が含まれる。前者が法的拘束力を持つに對し後者はこれを持たないものとして区別されている。〔エ〕は、行政機関が意思決定や事実を公に知らせる形式であるが、〔ア〕の一種として用いられることがある。この場合、それが〔イ〕に当たるのかそれとも〔ウ〕に当たるのかがしばしば問題とされてきた。例えば、文部科学大臣の〔エ〕である学習指導要領を〔イ〕と解する見解によれば、学習指導要領には法的拘束力が認められるのに対し、学習指導要領は単なる指導助言文書だと解する見解によれば、そのような法的拘束力は認められないことになる。また、〔エ〕のうちの、政策的な目標や指針と解される定めは、〔ウ〕と位置付けられることになろう。以上のように、〔エ〕の法的性質については一律に確定することができず、個別に判断する必要がある。

(平成29年度 本試験問題より)

空欄の数は1問に4つ。単語はもちろん、数字も空欄になることがあります。

①空欄に入る用語を…

グループ分けしておくと、解きやすい!

②20の選択肢から選びます。

(40字) 記述式：1問につき20点

行政書士試験の最大の特徴でもある「(40字) 記述式」は、問題文の問いに対する解答を40字程度(最大は45字)で、与えられた枠内に書きます。

問題文の問いの箇所に下線を引くなどして、何が問われているかを正確に読み取るようにしましょう。そして、事案を読み込み、何についての論点か、何が問題となっているかを把握しましょう。

ちなみに、句読点（。や、）も1文字とされますのでご注意ください。

(平成30年度 本試験問題より)

試験科目と問題数および配点

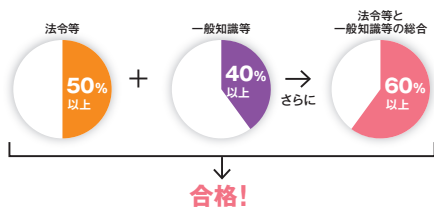
行政書士試験の試験科目は、次のような問題数、配点で出題されます。

科目		配点	五肢択一式 (1問4点)	多肢選択式 (1問8点)	記述式 (1問20点)
法令 46問 <u>122点以上必要</u> 244点	基礎法学	8点	2問		
	憲法	28点	5問	1問	
	行政法	112点	19問	2問	1問
	民法	76点	9問		2問
	商法	20点	5問		
一般知識 14問 <u>24点以上必要</u> 56点	政治経済社会	32点	8問		
	情報通信・ 個人情報保護	12点	3問		
	文章理解	12点	3問		

※令和3年度試験における出題内訳

問題数が多く多肢選択式も記述式もある行政法と記述式が2問ある民法とで、法令科目の8割近くを占めています。この2科目および記述式の攻略が、行政書士試験攻略のキモです。

合格基準



行政書士試験の合格基準は、非常に明確です。

法令等で50%以上、一般知識等で40%以上、試験全体で満点(300点)の60%以上で、合格です。

法令等だけで試験全体の60%以上を取っていたとしても、一般知識等で40%以上を取っていない場合は、不合格となります。

受験データ 受験者数、合格者数等の推移

行政書士試験の過去10年の受験者数、合格者数等は、以下のとおりです。

年度	H23年度 (2011年)	H24年度 (2012年)	H25年度 (2013年)	H26年度 (2014年)	H27年度 (2015年)
受験申込者数(人)	83,543	75,817	70,896	62,172	56,965
受験者数(人)	66,297	59,948	55,436	48,869	44,366
合格者数(人)	5,337	5,508	5,597	4,043	5,820
合格率	8.1%	9.2%	10.1%	8.3%	13.1%

年度	H28年度 (2016年)	H29年度 (2017年)	H30年度 (2018年)	R元年度 (2019年)	R2年度 (2020年)
受験申込者数(人)	53,456	52,214	50,926	52,386	54,847
受験者数(人)	41,053	40,449	39,105	39,821	41,681
合格者数(人)	4,084	6,360	4,968	4,571	4,470
合格率	10.0%	15.7%	12.7%	11.5%	10.7%

気になる合格率は、低い年で8.1%、高い年で15.7%となっていて、10年間の平均は10.5%くらいです。

ここ5年は、10%を超えるような高い合格率が続いていますが、今後どのように推移していくかは注目が必要です。

受験申込者数は減少傾向が続いていましたが、令和元年度(2019年)は増加に転じ、さらに令和2年度(2020年)も増加傾向が続いています。

なお、平成26年度(2014年)は、現在の試験制度が平成18年度(2006年)に導入されて以来はじめて、**補正的措置**が実施され、法令科目の合格基準が引き下げられました。

連絡先 (問い合わせ先) 一般財団法人 行政書士試験研究センター

所在地 〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館3階

電話番号 (試験専用) 03-3263-7700

シリーズ紹介と活用法

ここでは、TAC出版書籍（みんなが欲しかった!行政書士シリーズ）のご紹介と、その書籍を使った効果的な学習法について説明します。



入門書

1 行政書士 合格へのはじめの一步



- ・「**オリエンテーション編**」で、行政書士という資格と行政書士試験について、ざらっと確認してイメージをつかみましょう。
- ・「**入門講義編**」で、各科目の内容をざっと読んで全体像をつかむとともに、法律学習になれましょう。

実力養成

2 行政書士の教科書 本書



- ・まずは1回、ざっと読んで**全体像**をつかみましょう。わからないところがあっても、どんどん読み飛ばします。
- ・本文をじっくり、力を入れて読み込みましょう。
- ・「**例題**」は必ず解きましょう。できないときは、すぐに本文に戻って知識を確認しましょう。

3 行政書士の問題集



- ・『行政書士の教科書』の1回目を読む段階から、できればSectionごと、少なくともCHAPTERごとに、『行政書士の問題集』の問題を解きましょう。
- ・できなかった問題は、**解説に記載されているリンク**をもとに『行政書士の教科書』に戻って確認しましょう。



4 行政書士の最重要論点150



- ・『行政書士の教科書』の重要な150の論点をピックアップして、見開き2ページ1論点（項目）の構成、図表中心でまとめています。

5 行政書士の判例集



- ・最重要判例を中心に、重要度に応じてメリハリをつけながら、憲法・民法・行政法・商法の数多くの判例を掲載しています。

過去問演習

6 行政書士の5年過去問題集



- ・5年分の本試験問題を、詳細な解説と問題ごとの正答率とともに、新しい順に**年度別に収録**しています。
- ・出来具合に一喜一憂することなく、また解きっぱなしにせずに、できなかった問題は、『行政書士の教科書』に戻って復習しましょう。

7 行政書士の肢別問題集



- ・実際の本試験問題を素材にしながら、法令(等)科目の重要論点を、選択肢ごとに分解し、**1問1答形式**で、知識を確認できる1冊です。
- ・選択肢(問題)ごとに、重要度ランク・肢を切るポイントを明示しているので、メリハリをつけた学習が可能です。

記述対策

8 行政書士の40字記述式問題集



- ・過去問題を題材にした**解法マニュアル**と、**過去問題&オリジナル予想問題**が1冊に集約されています。
- ・一通りの学習が終わって、直前期に40字記述式対策を行われる受験生が多いようですが、**実力養成の学習と同時並行**することで、より知識定着を図ることも可能です。

直前対策

9 本試験をあてる TAC直前予想模試 行政書士



- ・出題傾向を徹底分析した予想問題を**3回分収録**しています。
- ・問題部分は回数ごとに取り外せるようになっているので、**実際の本試験を意識したシミュレーション**を行うことができます。是非とも**時間(180分)**を計りながらチャレンジしてみましょう。

合格！

CONTENTS

- はじめに／(3) 本書の特長と効果的な学習法／(4)
セパレートBOOK形式／(9) シールの活用方法／(10)
行政書士試験の概要／(12) シリーズ紹介と活用法／(18)
はじめての行政書士試験スタートアップ講座／(25)
学習マップ／(26)
科目別ざっくりガイド／(28)
合格するための得点戦略／(32)

第1分冊



第1編 憲法

学習ガイダンス／2

CHAPTER 1 総論	8
1 憲法の意味	8
2 憲法の基本原理	13
CHAPTER 2 人権	17
1 人権享有主体	17
2 人権の限界	24
3 幸福追求権	29
4 法の下の平等	36
5 自由権	44
6 受益権	70
7 参政権	72
8 社会権	74
CHAPTER 3 統治	81
1 国会	81
2 内閣	92
3 裁判所	97
4 天皇	105
5 財政	107

第1分冊（憲法）用語さくいん	112
判例さくいん	113



第2編 民法

学習ガイダンス／118

CHAPTER 1 総則	129
1 民法の基本原則	129
2 能力	132
3 失踪宣告	149
4 意思表示	152
5 代理	166
6 条件・期限	188
7 時効	192
CHAPTER 2 物権	207
1 物権	207
2 不動産物権変動と登記	212
3 占有権	227
4 即時取得	233
5 所有権	238
6 用益物権	249
7 担保物権	254
CHAPTER 3 債権	286
1 債権債務関係	286
2 債権の保全	297
3 債権譲渡・債務引受	313
4 債権の消滅	321
5 多数当事者の債権債務関係	335
6 契約総論	356
7 契約各論	369
8 契約以外の債権発生原因	400
CHAPTER 4 親族・相続	422
1 親族	422
2 相続	434
第2分冊（民法）用語さくいん	454
判例さくいん	456



第3編 行政法

学習ガイドンス／462

CHAPTER 1 行政法の一般的な法理論	472
1 行政法の基本原理	472
2 公法と私法	475
3 行政組織	483
4 行政行為	496
5 行政行為以外の行政作用	513
6 行政強制・行政罰	527
CHAPTER 2 行政手続法	538
1 総則	538
2 処分	544
3 処分以外の手続	557
CHAPTER 3 行政不服審査法	565
1 総則	565
2 審査請求	570
3 審査請求以外の不服申立て	589
4 教示	593
CHAPTER 4 行政事件訴訟法	597
1 行政事件訴訟の類型	597
2 取消訴訟	604
3 取消訴訟以外の訴訟	627
4 教示	642
CHAPTER 5 国家賠償・損失補償	645
1 国家賠償請求	645
2 損失補償	656
CHAPTER 6 地方自治法	660
1 地方公共団体	660
2 住民の権利	668
3 地方公共団体の機関	677
4 条例・規則	690
5 公の施設	694
6 国の関与	698

第3分冊（行政法）用語さくいん	704
判例さくいん	706

第4分冊



第4編 商法

学習ガイダンス／710

CHAPTER 1 商法	714
1 商法総則	714
2 商行為	724
CHAPTER 2 会社法	730
1 総論	730
2 会社の設立	735
3 株式	746
4 会社の機関	760
5 剰余金の配当	783
6 その他	786

第5編 基礎法学

学習ガイダンス／796

CHAPTER 1 法学	800
1 法律用語	800
2 法の名称	813
CHAPTER 2 裁判制度	817
1 裁判所	817
2 裁判外紛争処理（ADR）	826

第6編 一般知識

学習ガイダンス／832

CHAPTER 1 政治	838
1 国内の政治	838
2 国際政治	851
CHAPTER 2 経済	862
1 財政	862
2 経済	872

CHAPTER 3 社会	883
1 環境問題	883
2 社会保障	888
3 その他	896
CHAPTER 4 情報通信・個人情報保護	905
1 情報通信	905
2 個人情報保護	926
CHAPTER 5 文章理解	945
1 文章理解	945

第4分冊（商法・基礎法学・一般知識）用語さくいん	952
判例さくいん	954

第5分冊



みんなが欲しかった！行政書士試験六法

日本国憲法	1
民法（抄）	9
国家行政組織法	86
行政代執行法	90
行政手続法	91
行政不服審査法	102
行政事件訴訟法	117
国家賠償法	126
地方自治法（抄）	127
個人情報の保護に関する法律（抄）	158

はじめての行政書士試験 スタートアップ講座

本文に入る前に、ここで
行政書士試験のざっくりした
学習内容と重要項目30を
見てみましょう!!



一緒に
がんばりましょう!

学習マップ

行政書士試験の
全科目関係を
一覧にすると
こんな感じ!



憲法や行政法みたいに
国や役所と国民との
間の法律関係を
公法って呼ぶよ!



第1編 憲法

総論

法の下での平等
自由権
受益権
参政権
社会権
…
人権



統治

関連
あり

関連
あり

第3編 行政法

行政組織や
行政法の
基本ルール

行政法の一般的な法理論

行政手続法

行政不服審査法

行政事件訴訟法

国家賠償・損失補償

地方自治法



関連
あり

第2編 民法



財産

総則

物権

債権



家族

親族

相続

商人に
ついての
特別な
ルール



第4編 商法



個人商店

商法



株式会社

会社法

第5編 基礎法学

法学

裁判制度

関連
あり

裁判員制度は
基礎法学で
学習するよ!



第6編 一般知識

政治

経済

社会

情報通信・個人情報保護

文章理解



統治の条文知識や
行政組織の学習は
政治分野でも
活用できるよ!



時事ネタも
出るよ!

科目別 **ざっくり** ガイド

各科目のはじめに、
くわしい学習ガイダンスがあるよ



第1編

憲法

憲法（正式名は「日本国憲法」）とは、日本における法（ルール）の中で**最高位に位置**する一番大切な（根本的な）法です。

憲法は、全体に共通する**基本原理**を定めた総論、**国民の権利**について定めた人権、**国の統治の仕組み**について定めた統治の3つに分けることができます。

公権力 (ex法律)

規制

〇〇の自由

人権

憲法違反にならないの？

立法権



国会

行政権



内閣

司法権



裁判所

国家権力

統治



総論はあまり試験に出ません。人権は判例、統治は条文を中心に学習します。

第2編

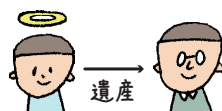
民法

民法とは、一般市民同士の
市民社会取引について定めた
法律です。

民法は、総則、物権、債権、親族・相続の4つのまとまりで構成されています。そして、総則・物権・債権をまとめて**財産法**、親族・相続は**家族法**といいます。したがって、民法は、財産や家族といった日常生活に関する身近な法律といえます。



財産法



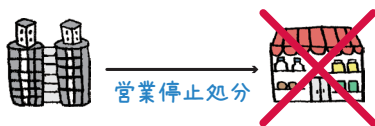
家族法



具体的な事例が与えられて、それをどのように取り扱うか、という事例問題が出題の中心で、記述式問題も2題あります。事例問題対策には、簡単な図を書くのも効果的です。

第3編

行政法



行政法は、憲法と民法と違って、「行政法」という名称の法律が存在するわけではありません。行政法とは、**行政（行政権）に関するすべての法令の総称**で、行政に関する法全体を学習する科目になります。

行政書士試験の行政法では、行政法の一般的な法理論、行政手続法、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償・損失補償、地方自治法が出題の中心とされています。行政法の一般的な法理論は具体的な法律すべてに共通するルールが中心で、他の5つは具体的な法律そのものが中心です。



最も出題数が多く、配点も高い、最重要科目です。

第4編

商法

商法は、民法と同じく国民同士の関係について定めている法律です。もっとも民法は一般市民同士の取引を対象としているのに対して、商法は個人商店や会社などの「**商人**」が**お金儲け目的で継続的に行う取引を対象**としています。

商法では個人商店（個人事業主）、会社法では株式会社を中心とした会社の組織・運営などについて定めています。



個人商店



株式会社



範囲が非常に膨大ですので、メリハリをつけた学習が重要です。すべてを学習しようとはせずに、出題可能性が高いテーマ(株主、会社の機関など)にしばって学習しましょう。

第5編

基礎法学

基礎法学とは、**法律を学ぶうえで知っておくべき基本的な事項**のことです。言い換えれば、法律の規定を読み進めていくために必要な知識のことで、法学で学習します。

これに加えて、裁判所の仕組みや裁判外紛争処理手続のような裁判制度なども出題されます。



法学

(法律用語・知識)



裁判制度



出題数(配点)が少ないので、学習ウェイトが低くてよい科目です。

一般知識では、**時事的な問題**も出題される政治・経済・社会、関連法律の内容と用語が出題の中心となる情報通信・個人情報保護、大学入試の国語（**現代文**）のような文章理解が出題されます。



政治



経済



社会



情報通信



文章理解

個人情報保護



14問（56点）中6問（24点）以上の合格ラインをクリアするためには、情報通信と文章理解の攻略がカギです。



スタートアップ講座でざっくりと
イメージを持ち、各科目の学習
ガイダンスで全体像を把握し、
そして本文を読む、との流れで
進めましょう！

次ページからは、合格する
ための得点戦略と、
そのために必ず押さえて
おきたい重要項目30です。
今後の学習をスムーズにできます！



執筆者



神田理生（TAC行政書士講座専任講師）

1975年大阪府生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。

TAC行政書士講座での講師歴は21年目となる。まったくの初心者から合格レベルに達するまでの道筋を示し、初学者がつまづきやすい箇所もケアしつつ、多くの初学者を合格へと導いてきた。

TAC出版からの著書には、「みんなが欲しかった！行政書士の教科書」「みんなが欲しかった！行政書士の問題集」「みんなが欲しかった！行政書士の最重要論点150」「行政書士 しっかりわかる講義生中継 憲法」「行政書士 しっかりわかる講義生中継 商法・会社法」などがある。

編集協力

滝澤ななみ

装丁

黒瀬章夫

イラスト

matsu（マツモト ナオコ）

みんなが欲しかった！行政書士シリーズ
2022年度版 みんなが欲しかった！行政書士の教科書

発行日 2021 年 12 月 15 日

初版発行

編著者 TAC株式会社（行政書士講座）

発行者 多田敏男

発行所 TAC株式会社 出版事業部（TAC出版）
〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18

電話（営業） 03-5276-9492

FAX 03-5276-9674

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

© TAC 2021

管理コード 09759P-00

〈ご注意〉

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で複製（コピー）、転載、改ざん、公衆送信（ホームページなどに掲載すること（送信可能化）を含む）されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合、および本書を使用して講義・セミナー等を実施する場合には、小社宛許諾を求めてください。